

県民と郷土を結ぶ総合博物館

青森県立郷土館だより

News from the Aomori Prefectural Museum

通巻161号 平成27年(2015)2月1日 Vol.45 No.3

企画展 彫刻家・鈴木正治の世界

齋藤葵和子コレクション寄贈記念



2004年撮影

彫刻家・鈴木正治は青い森公園内にある旧新町小学校の記念碑「思い出の記」や青森県総合社会教育センター内にある「わ」の彫刻などで、県民にとって馴染みの深い作家です。

大正8年に青森市に生まれた鈴木は、第二次世界大戦で中国から復員したのち、戦争体験の深い内省から、彫刻家になることを決意し、以来数多くの作品を制作しました。鈴木の手から生み出された彫刻はおおらかで、ユーモアにあふれ、観る人は自然に心が癒されていくような不思議な力を秘めています。鈴木は平成20年に89歳で亡くなるまで青森市を拠点に旺盛な制作活動を続け、本県の芸術振興に貢献しました。

本展は、平成23年3月に、長年にわたり鈴木作品の収集を行ってきた齋藤葵和子氏から当館に寄贈された約2千点におよぶコレクションの中から厳選した様々な分野の作品を紹介します。

(対馬 恵美子)

- 期間 3月14日(土)～4月20日(月) 38日間
- 場所 青森県立郷土館1階特別展示室(大ホール)
- 時間 9:00～17:00
- 観覧料 一般 310円(250円)
高校・大学 150円(120円)
中学生以下無料、障がいのある方は免除。
※()内は20名以上の団体料金。
※こちらの金額で常設展も観覧できます。



木彫「太郎と花子」1984年

記念講演会(リレートーク)

「語ろう鈴木正治ワールド」

主催/「鈴木正治コレクション」の会

日時/平成27年3月21日(土・祝)

13:30～15:00

場所/青森県立郷土館小ホール

※事前申込み不要

料金/無料

企画展 「彫刻家・鈴木正治の世界」

展示される作品紹介

鈴木正治は彫刻の他に、墨画や版画などの絵画作品も多数制作しました。

本展では、平成22年度に齋藤葵和子氏から一括寄贈された約2千点に及ぶ鈴木作品(齋藤葵和子コレクション)を「木のしごと」(木彫)、「石のしごと」(石彫)、「紙のしごと」(絵画、版画など)の3つに別け、それぞれの代表的な作品を多数展示いたします。様々な素材を用い、様々な技法によって制作された鈴木正治の優しさにあふれた鈴木ワールドを心ゆくまでご観覧下さい。

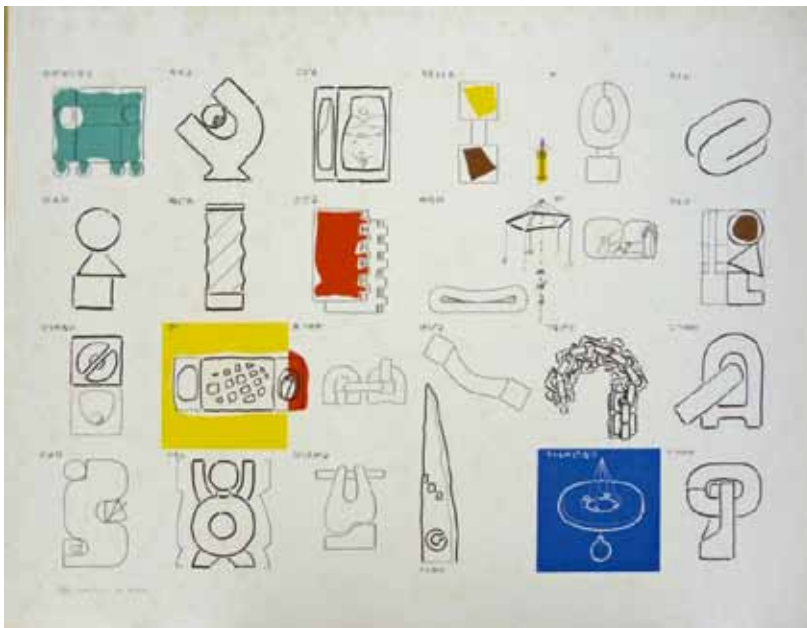
(対馬 恵美子)



石彫 「笑」

○主な出品作品○

- 石のしごと／「誕生」「笑う」「りんご」「人」など 約30点
- 木のしごと／「誕生」「ウゴカズ」「金魚ねぶた」「角巻」など 約50点
- 紙のしごと／墨画 「誕生」「ウゴカズ」「春夏秋冬」など 約50点
(屏風、軸装、パネル、額装、などの仕様)
- 版画「角巻」「わ」「鬼」など
(木版画、銅版画、シルクスクリーン、エンボッシングなど)



シルクスクリーン 「木の仕事」



木彫 「誕生」



木版画 「ねぶた」



墨画 「ウゴカズ」

美術品の取扱い体験実習!

—博物館の仕事普及啓発事業—

平成26年11月5日(水)、昨年度に引き続いて「博物館の仕事普及啓発事業」を当館小ホールを会場に開催しました。この事業は、県民の皆様が博物館に親しみ、博物館を積極的に利用していただくことを目的に、博物館の活動や資料へ理解を深める講演会や実技研修会を開催するものです。

今年度は、博物館や資料館の資料運搬を専門としているヤマトロジスティクス株式会社のスタッフを講師に招き、掛け軸や桐箱の取扱いについての実技研修会を実施しました。これは、同社が主に大学の学芸員養成課程において実施している実習サポート事業を利用したものです。

当日は一般参加者に加え、午前当館で開催された青森県博物館等協議会に出席した博物館学芸員が参加しました。専門家の手さばきを間近に見学できるとあって、参加者の皆さんのまなざしは真剣そのものでした。初心者の方は掛け軸の巻き方に苦戦していたようです。自宅の掛け軸や桐箱の正確な扱い方を習得できて満足であったという感想や、茶道を習っているという参加者からは大変参考になったと好評をいただいております。我々学芸員にとっても、資料の取扱いについての認識をさらに深めるよい機会となりました。

(竹村 俊哉)

写真上:講師による真田紐の結び方の実演

写真下:掛け軸の掛け方に挑戦



豊かな自然・文化遺産を活用する

デジタル郷土館事業



近年、学校教育や生涯教育だけでなく、観光、地域づくりなど博物館に求められる機能は高度化・多様化しています。博物館を取り巻く様々な要請に対応するため、博物館にはより積極的な情報発信が求められています。

当館では、平成26年度・27年度の2ヶ年にわたって、『豊かな自然・文化遺産を活用するデジタル郷土館事業』を行います。インターネット上にデジタルミュージアムを構築し、積極的な情報発信を行うものです。平成27年度に一部公開、平成28年度に本格稼働する予定です。

『デジタル郷土館』には ①積極的な資料公開とその活用 ②学習コンテンツの公開 ③館内展示の強化の3つの大きな柱があります。



①積極的な資料公開とその活用

郷土館には約10万点の収蔵資料がありますが、常設展で常時公開しているものは約5千点で、全体の5%に過ぎません。多くの方が青森の自然・文化に親しんで頂けるよう、多くの資料を公開します。また、より深く郷土の自然・文化を理解して頂けるよう、利用者がインターネット上に展示をつくりあげる「バーチャル展示」メニューを設ける予定です。

②学習コンテンツの公開

楽しみながら青森を学べるクイズメニューを用意します。また、資料や昔の写真などを提示しながら利用者の経験談・思い出・感想などを募集する掲示板を設け、幅広い世代の記憶を蓄積していきます。

③館内展示の強化

デジタルミュージアムをご覧頂き実際に当館へ足をこんで頂いた方に向けて、スマートフォン等でQRコードを読み込み展示資料の様々な情報を引き出せるシステムを構築します。

『デジタル郷土館』は、県民が郷土に対する理解・愛着を深める入り口になることを目指しています。是非一度のぞいてみて下さい。

(中村 哲也)

同時開催！TTHAグループ主催「第4回 東奥児童書道展」 & 「第2回 J-POWER写真コンテスト あおもり・エネルギーのある風景」入賞作品展

平成24年度より、毎年当館1階大ホールで開催しています「東奥児童書道展」が、今年も当館1階エントランスホールおよび小ホールで開催されます。子どもたちの書く力の向上と書を通して感性を豊かにすることを目的とし、美しい文字を表現する学習成果を確認する機会として応募してもらっており、今年で4回目となります。今年も、県内の保育園児、幼稚園児、小・中学校の児童・生徒から応募してもらった中から、すべての入賞作品を展示します。

また、昨年に引き続き「あおもり・エネルギーのある風景」をテーマに応募のあった「J-POWER写真コンテスト」の入賞作品展を「第4回 東奥児童書道展」と同時開催します。同コンテストには、県内外から263人、597点の応募があり、その中から入賞された全18作品をエントランスホールに展示します。



昨年の東奥児童書道展(県立郷土館大ホール)

大ホール天井改修工事のご案内

当館では現在、大ホール天井の補強のため改修工事を行っております。期間は平成27年2月27日までを予定しておりますが、その間下記のとおり館内や駐車場の利用について、制限をさせていただきます。利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

(1) 西側駐車場の閉鎖

工事事務所等設置のため、当館西側の駐車場を閉鎖しております。閉鎖している期間、当館北側(屋内)駐車場か、周辺の有料駐車場をご利用ください。

(2) 風韻堂展示室の閉鎖

大ホール入り口付近(旧館1階)にあります風韻堂展示室を閉鎖しております。工事完了の後に再開いたしますが、工事期間中、風韻堂展示室の資料の一部を2階考古展示室で展示しています。

(3) 常設展示室の順路変更およびエレベーターの利用休止

3階先人展示室をご観覧のあとは階段で2階へ降り、歴史展示室から自然展示室・考古展示室を経由して1階エントランスホールにお戻りいただく順路に変更しております。

また、工事関連のため、エレベーターの利用は休止となっております。

(4) 土曜セミナーの中止

毎週土曜日当館で開催されております土曜セミナーは、工事に絡み3月14日まで中止となります。平成26年度は3月21日の企画展関連講座のみの開催となります。

かわいいキャラクターたちがお出迎え！3階わくわくたいけんルーム

当館3階にある「わくわくたいけんルーム」などには、当館解説員が工夫を凝らして制作した、かわいいキャラクター関連作品も展示しています。ここで、一部の作品をご紹介します。



郷土館キャラクタードールハウス？フェルトで作られたキャラクターたちが、のんびり過ごすお家。たまに部屋の模様替えも。

月替わり折り紙展示
土器やキャラクターたちもすべて
折り紙のみで制作。
こちらは、毎月展示替えあり。



壁面展示(カウンター後ろ)季節に合わせてキャラクターたちが衣装替えしてお出迎え。写真は冬バージョン。



まだまだ、紹介しきれない作品がありますので、ぜひ足を運んで探してみてください。

26年度展示会・イベント・休館日情報

- ◆ 連携写真展『あたたかい北-ロシアの北方民族「エヴェン人」の生活-』 11/12(水)～2/11(水)
- ◆ TTHAグループ主催「第4回 東奥児童書道展」 2/20(金)～3/1(日)
- ◆ TTHAグループ主催「第2回 J-POWER写真コンテスト あおもりエネルギーのある風景」入賞作品展 2/20(金)～3/1(日)
- ◆ 企画展「彫刻家・鈴木正治の世界」齋藤葵和子コレクション寄贈記念 3/14(土)～4/20(月)
- ◆ 「企画展関連講座」 3/21(土) 13:30～15:00 ※無料
- ◆ 「ミュージアム探検隊」 毎週土・日・祝日および春休み期間
- ◆ 「解説案内」 毎週日曜、祝日 14:00～ 常設展を案内
- ◇ 2・3月の休館日 ◇ 2/19 3/2～3/9 3/13

